

タウンウォッチングのしおり

平成28年3月24日（木）

タウンウォッチング行程表

平成28年3月24日（木）

時間	内容	時間	説明者
12:00	●受付		
12:15	●オリエンテーション ※まちづくり市民協議会委員と光発信プロジェクトチームメンバー顔合わせ	20分	
12:40	◆市役所出発		
12:50	①ひかりソフトパーク ・新光総合病院建設予定地の見学	10分	病院局職員
13:10	②みちがみ病院 ・施設の説明、見学	30分	病院関係者
14:00	③浅江中学校 ・あさなえ英会話教室の見学 ・コミュニティスクール事業の説明	45分	伊藤校長 中学生・地元住民
15:00	④梅田病院 ・施設の説明、見学	30分	病院関係者
16:00	⑤光市農業振興拠点施設「里の厨」 ・施設の説明、見学	15分	市職員
16:30	⑥岩田駅周辺地区 ・大和複合型施設建設予定地の見学	10分	市職員
17:00	⑦室積コミュニティセンター ・施設の説明、見学 ・意見交換、まとめ	30分	市職員
17:45	◆市役所到着、解散		

①新病院建設予定地

現在の光市立光総合病院



新光総合病院建設予定地



平成22年8月に策定した「光市立病院再編計画」の中で、光総合病院は急性期医療、外来医療、および人工透析医療を行う病院とすると位置付けましたが、施設の狭隘化や老朽化等の問題もあり、現在の医療を維持していくことすら困難になりつつあるのが現状です。

こうしたことから、今後光総合病院が急性期医療を充実していくためには抜本的な施設整備が求められており、施設の整備方法について検証を行った結果、現地での増改築と新築については敷地面積が狭いため制約が大きく、移転新築が最良の方法であるとしたところです。

地域の急性期医療の中核病院として、がん治療の充実や、救急、災害などに対応できる機能を備えていくことが光総合病院の担うべき役割であり、それを実現するために、平成26年2月に「光総合病院移転新築整備基本計画」を策定し、その中で、建設場所を光市光ヶ丘の「ひかりソフトパーク」とし、平成31年度までの開院予定としています。

MEMO

②みちがみ病院



みちがみ病院は、平成4年8月、光市島田の地に開院し、平成18年7月に現在地へ移転し、小児科を開設しました。

平成19年1月には、病院で10,000人目のベビーが誕生しました。

光市の丘の上に建つみちがみ病院は、「女性と子どもと家族のための病院」として、妊娠から出産、子どもと家族の健康まで、いきいきとした人生をサポートしており、妊婦さんそれぞれのご希望に沿った診療を心がけております。

また、働く人にやさしい企業として県知事表彰を受け、やまぐち子育て応援優良企業として表彰されるなど、働くスタッフにもやさしい病院です。

MEMO

③浅江中学校



あさなえネットのキャラクター
「つながりん」



浅江中学校は、平成21年度から2年間、文部科学省より「コミュニティ・スクール調査研究校」の指定を受け、推進事業を展開しました。平成23年度からは正式にコミュニティ・スクールとして光市の指定を受け、各種の取組みを推進しています。コミュニティ・スクールは学校運営協議会制度とも呼ばれ、保護者や地域住民が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することを目的に導入されました。

「あさなえネット」とは、浅江中学校のコミュニティ・スクールの名称であり、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、協力しながら、子どもたちの健やかな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進めています。

MEMO

④梅田病院



梅田病院は、光駅の近くにある産婦人科・小児科の病院です。

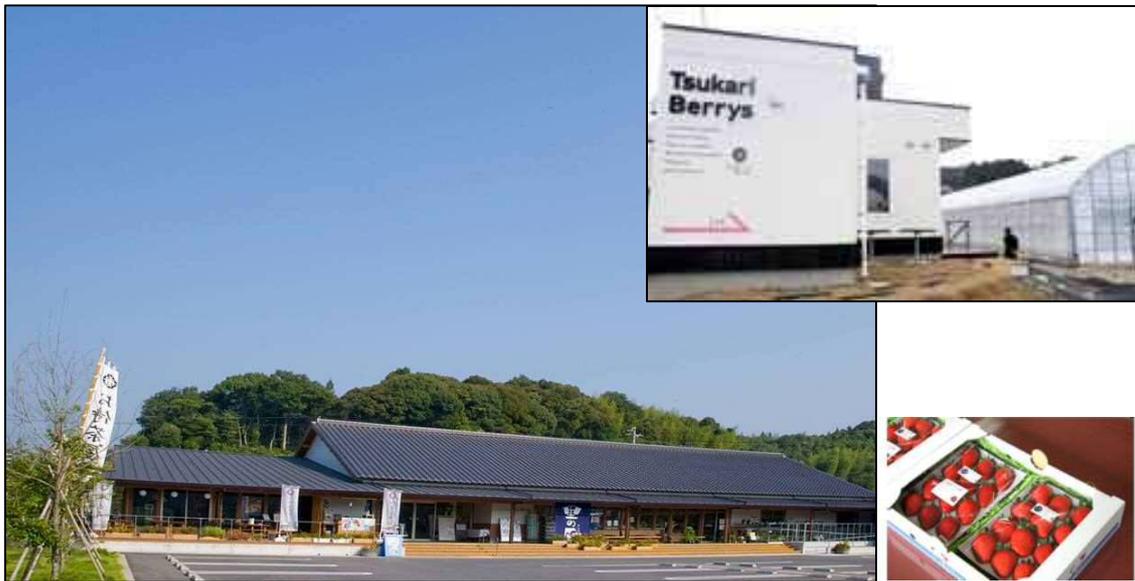
平成9年にBFH（Baby Friendly Hospital：赤ちゃんにやさしい病院）としてWHOから認定を受けました。

真に母と子に優しい病院を目指して、助産師をはじめ、スタッフ全員で、母乳育児を基本に楽しく安全な育児のお手伝いを行っています。

光市では、子どもが病期中または病気回復期のため、集団保育が困難な場合で、かつ保護者が就労等により日中の保育ができないとき、専用施設で一時的に預かり、児童の健全育成と保護者の就労支援を図る病児・病後児保育事業を実施しており、その実施施設「ラビングハグ」が梅田病院内にあります。

MEMO

⑤光市農業振興拠点施設「里の厨」



光市農業振興拠点施設「里の厨」は、地産地消の促進や、地域農業の振興を通じた地域環境の向上、周辺農地を活用した研修事業による食農教育の推進、さらには伊藤公記念公園などの周辺観光と連携した観光振興を図り、活力に満ちた魅力あふれる地域社会の実現を目指して、平成23年7月にオープンしました。

地元の生産者が丹精込めて作った、新鮮で安全な農産物や加工品は大変好評で、連日多くの人で賑わっており、昨年9月にはレジ通過者が100万人を超えたところです。

地元の農事組合法人が運営するビニールハウスでは、安全で高品質なイチゴが栽培されていますが、このイチゴを使用したケーキ等を販売している「ツカリベリーズ」も人気を得ています。

MEMO

⑥大和複合型施設建設予定地



人口減少や少子高齢化の進行をはじめ、地域活力の低下やコミュニティ衰退など、地域の抱える懸念に対応するとともに、岩田駅周辺地区における新たな拠点を創造し、利便性の向上や賑わいの創出を目指すため、施設整備の基本コンセプトを「多様な価値観を育む、快適交流空間 ～こころ和み ひとが輝き まちが賑わう～」と決めました。

この基本コンセプトに沿って、現在の大和支所、大和公民館および図書館大和分室の機能を集約させた複合型施設や、山口県との協働により、多様な世代に配慮した公営住宅として整備する市営住宅及び県営住宅、さらには、ふれあい広場や消防団消防機庫、市営バスの車庫を整備します。

整備スケジュールについては、複合型施設は平成30年度での完成を、公営住宅については平成32年度での完成を目指し整備を進めます。

市では、複合型施設の整備に合わせて県道からのアクセス市道を整備することとしています。

MEMO

⑦室積コミュニティセンター



旧室積公民館は、昭和41年に開館して以来、公民館活動だけではなく、団体・サークル活動等の市民活動、また、開館当時は結婚式場としても利用されるなど地区住民の皆様にも親しまれ、室積地区における生涯学習や住民活動の拠点としての役割を果たしてきました。

しかし、建築後相当の年数が経過したことにより老朽化が進み、維持管理や耐震性の確保、バリアフリー化への対応が課題となっており、また、多様化する住民ニーズに対応するには全体的に手狭であることから、市では、その建替えおよびコミュニティ機能のあり方について、政策立案段階から市民の皆様の参画をいただき、協働による検討を行い、整備方針等をまとめました。

そして、今月5日にオープンしたところですが、基本コンセプトである「みんなの“ふらっと”ステーション～笑顔、ふれ愛、安心の拠点」のとおり、地区の人々が誰でも気軽に立ち寄り、笑顔でふれあい、絆を深める場であるとともに、生涯学習や地域福祉、防災の拠点としての役割を担うことが期待されています。

MEMO

タウンウォッチング 出席者一覧表

光市まちづくり市民協議会委員

	氏 名	所属団体等
1	有 竹 英 喜	光市地球温暖化対策地域協議会会長
2	上 田 博 幸	光市ボランティア連絡協議会会長
3	魚 本 恵 子	光市スポーツ推進委員協議会
4	梅 本 貞 則	周防中保護区保護司会光支部支部長 (協議会会長)
5	木 村 芽 衣	公募委員
6	小 林 富 江	光市連合婦人会会長
7	佐 川 和 幸	公募委員
8	田 沼 一 彦	公募委員
9	深 来 登	周防連合自治会会長
10	松 本 奈津美	公募委員
11	宮 尾 智 義	大和公民館長
12	茂呂居 諭	ニューフィッシャー
13	山 根 明 子	光市男女共同参画推進ネットワーク
14	中 村 孝 史	山口県周南県民局局長 (代理：吉山県民局次長)
15	一 倉 輝 男	光地区労働者福祉協議会

「光」発信！プロジェクトチームメンバー

	氏 名	所 属 (平成28年3月24日現在)
1	海老本 卓 也	福祉総務課 (プロジェクトチーム チーフ)
2	佐 伯 愛 子	健康増進課
3	秋 山 和 宏	都市政策課 (プロジェクトチーム サブチーフ)
4	影土井 洋 治	教育総務課
5	宮 本 佳 典	商工観光課
6	益 田 圭 一	総務課
7	野 村 昌 代	会計課
8	中 本 智 之	環境政策課
9	有 木 美由紀	学校教育課
10	竹 村 峰	行政改革・情報推進課
11	竹 尾 和 朗	広報統計課
12	菅 岡 千 晴	総務課
13	石 黒 北 斗	農業耕地課
14	細 川 智 大	つるみ幼稚園
15	堂 本 崇 視	商工観光課
16	西 村 菜 々	農業耕地課
17	後 藤 良 太	深山浄苑
18	小 川 洋 輝	建築住宅課
19	杉 田 洋 輔	下水道課
20	廣 田 麻 希	下水道課